

〔長久手町業務評価票：平成16年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	3 - (4) -	生きがづくり
担当課・係名	福祉の家 事業 係 【問合せ・質問等の先(内線番号) 64 - 6500 番】			

業務の名称	高齢者生涯学習事業																																														
(1)根拠法令・条例	老人福祉法																																														
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>10</u> % (系の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>143.5</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>49.5</u> 人・日)																																														
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>1,373</u> 千円 (平成16年度決算)																																														
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.</u> % (平成16年度実績)																																														
(5)業務期間	開始した年度	平成14年度	終了(予定)年度	年度																																											
(6)業務の概要																																															
業務目的(達成目標)	高齢期を健康でより充実したものにすることで、住んでいて楽しい町をつくること。																																														
業務が対象とする住民(地域、層)	町内在住の60歳以上の高齢者																																														
業務の具体的な実施内容・方法 (平成16年度実績)	<p>各種講座を開催し、生きがづくりと交流を推進し、高齢者の社会的孤立感や老後の不安の解消を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年受講者のアンケート結果を踏まえ、講座名を決める。 初心者向けで楽しく受講できる講座を選定31講座(運動系5講座・IT系12講座・創作系14講座) 年間4期に分け、広報にて募集 定員は10名から15名(定員を超えた場合は、抽選) <p>個人負担金は、受講料として1回200円と材料費実費</p>																																														
業務の実施結果 (平成16年度実績)	<p>広報誌に掲載及び福祉の家掲示板に掲示し、募集を行い、窓口と電話にて受講申し込みを受付し、定員を超えた講座については、公開抽選を行い、受講可否の通知結果を発送した。毎回、初めに教室の開錠し、案内表示を出し、講座は講師が進行する。終了後は、実施確認表を作成し、最終日にアンケートを記入してもらう。</p> <p>【業務結果の説明指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th></th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>生涯学習講座数</td> <td align="center">26</td> <td align="center">31</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>受講者実人数</td> <td align="center">305</td> <td align="center">301</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>受講者延べ人数</td> <td align="center">1577</td> <td align="center">2168</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度	1	生涯学習講座数	26	31				2	受講者実人数	305	301				3	受講者延べ人数	1577	2168				4							5						
結果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度																																									
1	生涯学習講座数	26	31																																												
2	受講者実人数	305	301																																												
3	受講者延べ人数	1577	2168																																												
4																																															
5																																															
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成16年度実績)	<p>高齢者の社会的孤立感を解消し、外出の機会を促進した。安らぎと生きがいのある、住んでいて楽しい町となった。福祉の家実施の「生涯学習講座アンケート」結果は、講座内容は満足以上と評価が高く、楽しく受講できたとの声が多い。今後も継続を希望する者が多い。</p> <p>【業務成果の説明指標：基本計画準拠】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th></th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度	1							2							3							4							5						
成果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度																																									
1																																															
2																																															
3																																															
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題

- ・講座が終わった後のフォロー体制が不確立である。受講後の指導ができてない。
- ・他の講座を行っても、受講者が同じ場合が多い。広くPRする必要がある。
- ・住民の満足度について、確認が不十分である。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

- ・アンケートを参考に次回以降の講座に反映する。

(9) 業務の評価

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、最適であったか。	4 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して最適であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5 点
		平均 4.2 点

(10) 総合評価

今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none">・前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
評価理由	高齢者の生きがいづくりとして、浸透してきている。目的が達成されている。

(11) 今後の改善方針

- ・住民のニーズに対応した講座を開催するため、住民等の意見を聞く場を設ける。
- ・成果を発表する機会を与える工夫をする。
- ・上記のアンケート調査結果を参考にして、次回以降の講座に反映する。